

輸入食品の安全性

博士：寒かったじゃろ～。夕食の買い物、ご苦労さま。

Q子：あれあれ？このかぼちゃはニュージーランド産、ブロッコリーはアメリカ産、スパゲッティはトルコ産って書いてありますよ。輸入品ってけっこう多いんですね～。

博士：そうじゃな。バナナのように国産品を選んで食べようとしても、ほとんど流通していないものもある。今の食生活では、輸入食品なしでは生活が成り立たないと言えるんじゃ。

Q子：う～ん。輸入食品は必要だと思うんですけど、日本では使ってはいけない農薬などが入っているんじゃないかとか安全性はちょっと不安だな～。

博士：それじゃあまず、輸入食品がどのようにして食卓に届くのかを知ることじゃな。



博士。
マイペース型。

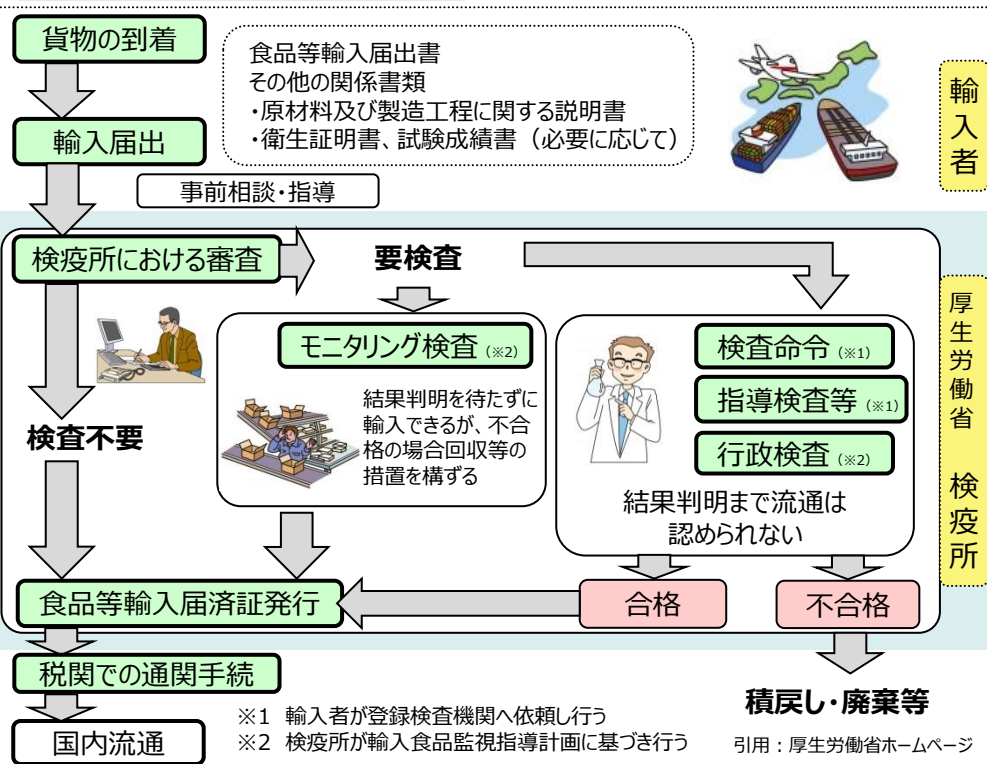


ネコ。
しゃべれる。



Q子。助手。
いつも前向き。

輸入食品の安全性確保



博士：港などに到着した輸入食品は、まず国の検疫所に届出をする必要がある。

Q子：届出？

博士：全ての輸入食品が書類審査を受ける。食品等輸入届出書や原材料や製造工程に関する説明書、必要に応じて衛生証明書や試験成績書を提出するんじゃ。

Q子：全ての輸入食品ですか？

博士：そうじゃ。原材料や使用された食品添加物など日本の基準に合致しているか審査されておる。

Q子：書類審査だけですか？

博士：いや、添加物の使用基準が守られているか、有毒物質などが含まれていないかなどの検査を実際に行っておるぞ。

Q子：検査された輸入食品はどうなるのですか？

博士：検査の結果、合格（＝適法）の場合は、通関手続を進めることができる。不合格（＝違法）となった場合は、日本国内に輸入することはできない。輸出国に積戻し又は廃棄などの措置が行われるんじゃ。

Q子：でも、全ての輸入食品に検査を行うことは無理ですよ～。

博士：そうじゃな。じゃが、モニタリング検査を通じて、多種多様な輸入食品を幅広く監視して、食品ごとのリスクに応じて検査を行うことで、年間約200万件もの輸入食品の安全性を効率的、効果的に確認しておるんじゃ。

Q子：輸入時にはいろいろな対策がとられているんだな～。でも、そこから私たちの食卓に届くまではどうなっているんですか？

博士：都道府県等では流通食品等の収去検査を行い、監視指導を行っておる。岐阜県はどうか、見てみるかの～。



輸出国への対策として、輸出国間との二国間協議や輸出国政府による輸出前検査等が行われているニャ～。



岐阜県の取組み（残留農薬等・食品添加物検査）

博士：岐阜県では、県内に流通する輸入農産物や輸入はちみつ・えびなどの食品について、残留農薬等（殺虫剤や除草剤、動物用医薬品など）に関する基準を超過したものがいないか、また輸入加工食品について、保存料や着色料などの食品添加物の使用や表示が適正に行われているか検査を行っている。

【残留農薬等及び食品添加物検査結果（岐阜県）】

215検体		H29		H28		H27	
		残留農薬等	食品添加物	残留農薬等	食品添加物	残留農薬等	食品添加物
輸入品	検体数	87	128	87	127	88	122
	違反数	0	0	1	0	0	0
主な輸入食品	残留農薬等検査	野菜、果実（ほうれん草、にんにく、オレンジ等）、はちみつ、えび、うなぎ加工品等					
	食品添加物	漬物、菓子類、清涼飲料水、佃煮、ジャム等					

Q子：あれ？平成28年に残留農薬で1件違反があったんですか？

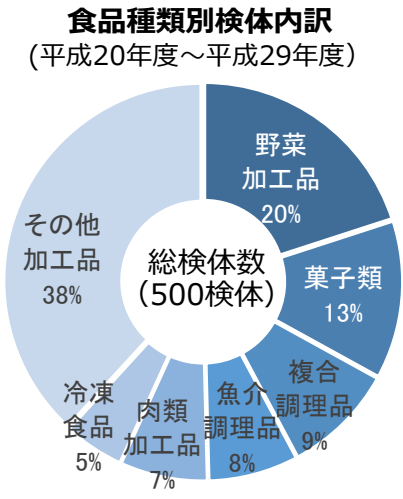
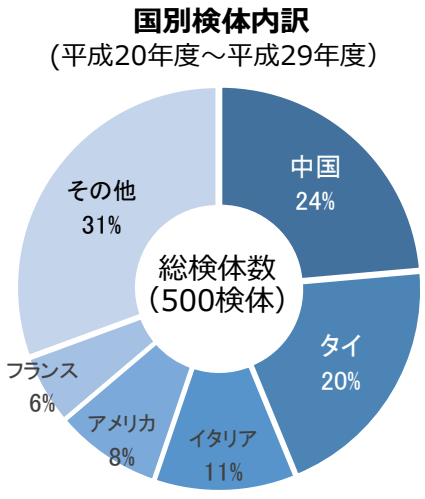
博士：そうじゃ。基準値を超える残留農薬が検出されたんじゃ。違反品については、回収の命令など適切な対応を行っている。毎年、同じくらいの数の検査を続けておるが、ほとんど違反はない状況じゃ。

Q子：毎年、200検体以上も検査されているんだ～。

博士：それに、岐阜県では中国産冷凍ぎょうざに農薬が混入した事件をきっかけに、平成20年度から毎年、県内に流通する輸入加工食品(50検体)の残留農薬(有機リン系農薬29項目)の検査を行っているんじゃぞ。

【輸入加工食品残留農薬検査（岐阜県）】

- 検査項目：有機リン系農薬29項目
- 検査検体：食品安全連絡会議(※)の構成メンバーである事業者等からの提供（年間50検体）



検査結果：すべて不検出

※食品関連事業者の代表、行政から構成。県内に流通する食品の安全確保及び緊急連絡体制整備を図ることを目的に設置。

Q子：中国やタイ、イタリアなどいろいろな国の食品を検査しているんだ！

博士：そうじゃ。国別に見ると、これまでに約40か国から輸入された食品を調べておる。

食品の種類別に見ると、トマトピューレなどの野菜加工品や、チョコレートなどの菓子類、ぎょうざなどの複合調理品、その他加工品としてパスタやジュースなども検査しておるぞ。

Q子：食品の種類もいろいろだな～。検査結果はすべて不検出だったのですね。



Q子：知らないことばかりだったな～。過去に事件もあったし、輸入食品は不安だと思っていたけど、「何だかよくわからないけど不安だ！」っていうのはダメだな。。

博士：国産品の良さを認識しながら、食卓を豊かにするために輸入食品も賢く利用することも大切じゃな。

Q子：やっぱり、正しい情報を収集する、そして自分で考えた上でどう選択するかということが重要ですね！

博士：今日の夕食は、買って来た食材でブロッコリーのスパゲティーとかぼちゃのサラダにするかの～！

Q子：食後のデザートは、このベルギー産チョコレートだ！

11号では、加工食品の原材料の産地が表示される「原料原産地表示」制度がテーマだニヤ～。

博士：ちゃっかり、おやつまで買って来たな～。



食卓の安全・安心ニュースで知りたいテーマがありましたら、メールかFacebookでお寄せください。生活衛生課メール：c11222@pref.gifu.lg.jp Facebookページ「岐阜県食品安全推進室」

最後までお読みいただきありがとうございました。